

テレワーク推進事業【岡崎市】

総事業費	3,371 千円
交付金額	1,686 千円

地域の実情と課題

本市における女性の就業率は全国平均と比べて低く、年齢階級別労働力率は、全国よりも深いM字カーブとなっている。令和元年に行った市民意識調査では、女性が就労を継続するために必要なことは、職場における育児・介護との両立支援の充実が36.5%となった。

これに対して、本市では令和元年度からテレワークによる就労支援事業を行ったところ、市民ニーズが非常に高く、本地域における女性就労支援としてのテレワークは有効的であることが分かっている。女性が就労を継続するためには、女性と事業所の双方に柔軟な働き方を推進し多様な労働モデルを提示する必要がある。

事業の特徴

テレワークに関する仕事内容やビジネスマナー、法務・経理・税務等テレワーカーとして必要不可欠な知識に関するセミナーを実施するとともに、疑似業務体験やeラーニングによってビジネススキルの向上を図った。また、ビジネスマッチングイベントを開催し、柔軟な働き方の実現を図った。

事業の効果

セミナー参加女性数は延べ146名と目標を大きく上回り、併せて今年度に本市事業に参加した女性及び事業所に実施した追跡調査では回答者の就業率は45.9%という結果となった。今後もより効果的な施策を実施し、テレワークによる就労の定着を図っていく。

目的・目標

【目的】

女性を対象に、テレワーカーとしての育成と就労支援を行い、eラーニングを活用することで時間や場所にとらわれず効率的に女性のスキルアップを図る。また、自営型及び雇用型テレワークでのビジネスマッチングを行うことで、女性のテレワークでの就労を支援するとともに、市内事業所における労働力不足の解消を図る。

【目標】

- ・ビジネスマッチングイベントの開催：1回
- ・セミナーの延べ女性参加者数：50人

連携団体

- ①岡崎市男女共同参画推進及び多様な性の尊重に関する審議会
岡崎商工会議所、連合愛知三河中地域協議会
岡崎信用金庫
- ②愛知県

今後の課題

女性のテレワーカーとしての就労ニーズは高く、本市における女性の就労形態としては非常に有効的であることがわかった。しかしながら、製造業が多い本市は、テレワークによる仕事の利便性が理解されていないことが課題となった。今後、女性が自立して働くための支援や事業所にはテレワークのできる仕事の発掘を支援していく。

テレワーク推進事業

女性のテレワークに関する仕事内容や実施方法、コンピューターウイルス対策、ビジネスマナー、法務・経理・税務等テレワーカーとして必要不可欠な知識に関するセミナーを実施。セミナーと並行し、疑似業務体験やeラーニングによってビジネススキルの向上を図り、女性と事業所のマッチングイベントを実施。

入門セミナー概要

- 【日 程】 令和4年9月20日(火)
- 【参加人数】 35名
- 【会 場】 図書館交流プラザ りぶら
オンライン
- 【内 容】 テレワークの基礎的な知識や
心構え

スキルアップセミナー概要

- 【日 程】 1: 令和4年10月11日(火)、14日(金)
2: 令和4年10月20日(木)、21日(金)
- 【参加人数】 延べ59名
- 【会 場】 図書館交流プラザ りぶら
オンライン
- 【内 容】 自立的かつ円滑にテレワーカーとして
就業を継続できるようなテレワーク
の基礎知識

その他: eラーニング
マッチングイベントガイダンス

ビジネススキルセミナー概要

- 【日 程】 令和4年11月15日(火)
- 【参加人数】 延べ52名
- 【会 場】 図書館交流プラザ りぶら
オンライン
- 【内 容】 ビジネス基礎知識

ビジネスマッチングイベント概要

- 【日 程】 令和4年12月10日(金)
- 【参加人数】 31名
- 【会 場】 図書館交流プラザ りぶら
- 【内 容】 テレワーカーと事業所の
マッチングイベント

